

活動名	団体名 おいもを愛する会
おいもでつなげる地域の輪	地 域 広島県呉市
	代 表 者 会長 谷脇 けいこ
	支援金額 25万円
活動概要	
<p>地域の人に教わりながら「さつまいも・じゃがいも」を植え育て・収穫を通して自然のすばらしさを子どもたちに体験させ、豊かな感性を育て、互いに助け合う心思い合いの心を育てます。収穫した「さつまいも・じゃがいも」は、子ども・保護者・地域の人と一緒に「料理教室」や呉市の機関と連携して開催するイベント「市民協働メッセ」「ふれあい地域コミュニティ文化祭おいもちゃん祭り」などで使用します。また、子どもを中心とした四季折々の様々な体験活動の機会を充実させます。新しい企画として、歌・楽器演奏・踊り・フラダンス・空手等、専門的な分野で活躍されている団体と連携し子どもの体験交流活動を充実させ心と身体の健全育成に努めます。同時に学生ボランティア育成を充実させます。交流を深め、お互いを理解し、人として尊重しあい地域全体の人々の「つながりの輪」を広め、誰もが幸せだと心から思えるように、子どもを中心に地域コミュニティづくり、ネットワークづくりを様々な活動を年間を通して推進します。</p>	
<p>◆実施時期： 2008年4月～2009年3月広会館・広コミュニティセンター・おいもを愛する会の畠・くれ市民協働センター</p>	
<p>◆参加人数： じゃがいも・さつまいもの栽培、畠作業、「手芸教室」「子ども体験交流教室」、「親子ふれあい教室」、「市民協働メッセ」、「じゃがちゃん祭り」、「男女共同参画パネル展」、「くれ福祉祭り」、「広教育祭り」、「第5回ふれあい地域コミュニティ文化祭おいもちゃん祭り」、「多文化共生社会の実現をめざす講演会」、「おいもを愛する会総会」・「まちづくりフォーラム」、事務局会</p>	
参加総人員 4,215 名	



《グラウンドゴルフ》



《そうめん流し》



《じゃがちゃん祭り》



《おいもちゃん祭り 集合写真》

◆活動が関連する団体等、地域社会等に与えた影響

2006年度から2008年度と3年間にわたりマツダ財団のご支援により「おいもを愛する会」の活動を充実させることができたこと、心から感謝いたします。「じゃがちゃん祭り」「おいもちゃん祭り」「料理教室」「手芸教室」「子ども体験交流教室」「親子ふれあい教室」等交流行事を開催する事が出来「つながりの輪」が広がり深まっています。「じゃがいも・さつまいも」の植えつけ・収穫の指導や四季折々の行事等さまざまな活動が年を重ねるごとに充実し青少年の健全育成の推進も地域の中に浸透してきています。「おいもを愛する会」会員だけではなく保護者や地域の人、自治会役員の協力や理解も深まっています。「おいもを愛する会」は、今年度も主に呉市広会館・広コミュニティセンターを貸館を利用して活動を行ってきました。「おいもを愛する会」の行事に参加された人が呉市広会館の行事に参加され、また、呉市広会館を利用された人が「おいもを愛する会」の行事に参加される等互いに影響しあい呉市広会館の利用者も増えています。周辺の自治会においても交流が進み活気が出てきています。関わってくださった学生ボランティアの活動や高齢者の人たちの活動も活発になり一人一人が輝いています。例えば「子ども体験交流教室」を一例に上げると行事予定を見て地域の技を持っておられる人が自主的に竹トンボを作つて来てくださったり凧作りの指導をかって出てくださったりして私たちが予定している事より更に進んだ取り組みが出来てきました。体験交流教室の講師をしてくださったダンスチームやグラウンド・ゴルフクラブの活動も活発になりました。くれ市民協働センター主催の行事や今年は、呉市社会福祉協議会主催の行事・広市民センターの行事にも参加し「おいも料理」を振る舞い多くの参加者に喜んでいただき活動報告やアピールをすることでのボランティアグループとの交流を深め「おいもを愛する会」主催の行事に参加・出演・協力をしていただいた団体も昨年より増え輪が広がっています。人がつながり地域コミュニティの広がりで、地域住民同士が交流を深め、理解しあい、青少年の健全育成の推進をはかり、子どもたちの思いやりの心を育て、行動力、協調性、前向きに生きていく力を地域で育て、互いに尊重しあう人間関係が年齢や男女問わず良い関係ができています。

地域の子どもと大人が共に畠を作り、四季折々の行事、歌・踊り等体験を専門家から学び、自然と人間の関わりや、ともに助け合いながら過ごす仲間とのコミュニケーションについて考えること。また、自主性・協調性を育み未来の社会人として「知識と教養」と「生きる力」を身につけることをめざしてきた活動は、地域の人も喜んで参加してくださり地域の活性化につながっています。子どものいじめや自殺、不審者出現と子どもを取り巻く状況は、不安でいっぱいですが「おいもを愛する会」の活動の成果で、自治会の枠を越えた地域の大人と子どもが知り合い、ふれあい、理解し合い、互いに成長する環境がつくられ「子どもの安全」「子どもの健全育成の推進」に広がりが出て「青少年健全育成の推進」の活動が生き生きと出来「輪」が広がっています。地域に家庭的なつながりができる、「心の居場所」「安らぎの場」として皆さんに喜ばれています。本年度も市民協働センターにおいて利用者協議会幹事役員としてまた「広まちづくり推進協議会」の「ひろまちづくり計画委員」として役割をいただき他団体との交流も深まり、呉市社会福祉協議会主催行事10月26日開催「2008・くれ福祉祭り」に8月~実行委員として実行委員会に参加し企画運営に携わりました。当日は、収穫したばかりの「さつまいも」を愛情込めて料理した「おいも汁・おいもご飯」を参加者の皆さんに食べていただき「大変に美味しい」と大好評でした。また、パネル展示とステージで活動のアピールをし参加者の皆さんに「おいもを愛する会」の活動について広く知っていただきました。このイベントで知り合った団体「くれフォーク村」のホームページにも美味しかったと掲載されました。

2008年12月7日に開催した主催行事「第5回ふれあい地域コミュニティ文化祭・おいもちゃん祭り」では、「2008・くれ福祉祭り」「広地区教育祭」「市民協働活動メッセ」で知り合った他団体の参加要望があり「おいもちゃん祭り」のふれあいステージで歌・演奏・踊り・漫才等を披露して頂きました。今まで以上の広がりと交流を深めることができます。今回初めて、参加した各団体から「とても楽しかったまた参加したいです」のお言葉をいただき感激しました。

◆苦労した点

「青少年健全育成の推進」に役立つよう、支援していただいた予算を最大限に活かした活動をするため会員で話し合い、事務局会を定期的に開き、企画運営をしてきました。チラシ配布や行事案内のポスターを自治会掲示板に掲示するだけではなく青少年育成情報ネットへゆっぴネットへ掲載していただきました。呉市情報誌「月刊くれえん」に掲載して多く市民に呼び掛けました。また「くれ市民協働センター」内にポスター掲示、チラシは「ボランティア情報紙」と共に各団体へ配布(約240団体)等、近隣4自治会だけではなく他のボランティア団体との関わりをつくり活動に広がりをもたせ楽しく充実させるよう工夫しました。「おいもを愛する会」が開催する行事に参加された人々は、本年度も0歳から91歳の年齢幅があります。イベントを開催する時には、必ず衛生面に気をつけ保健所に届けを出し許可をいただきました。また、健康についても配慮し、イベントを開催する時には、必ずイベント保険に加入しました。参加された人々が「参加して良かった」と満足し納得していただけるよう工夫し企画しています。一人一人が大切にされ「ここに来て良かった」「家庭的な温かさ」「心の居場所」「みんな輝いていける会」として活動していくよう考え方企画運営をしてきました。

◆今後の課題・発展の方向性

2008年度は「知識と教養」と「生きる力」を身につけることをめざし地域の人・学生スタッフだけではなく、呉地区内で専門分野において活躍されている団体にスタッフや講師として関わっていただき、歌・踊り・フラダンス・ジャザサイズ・グラウンドゴルフ等を開催し知識と教養を高め心と身体をみんなの力で育てていきました。

今後は、次代を担う青少年が生き生きと輝き「幸せな町づくり」を実現させる一員として活躍するよう願いを込め「思いやりにあふれた町、互いに助け合う町、みんなが住みよい町」の実現のための活動を創意工夫していきます。自ら考え自ら行動する青少年を育成するための機会を設けボランティアの中核となる人材を育成し、ボランティアの裾野を拡大していきます。夢あふれ、心豊かな青少年の健全育成をこれからも取り組み推進して行きます。

◆活動を終えての感想・意見等

今年度も昨年同様マツダ財団のご支援のおかげで企画した行事は、すべて成功しました。心より感謝いたします。ありがとうございました。「誰もが自信と誇りを持ち夢と希望のもてる町・地域」に着実に近づいています。地域ぐるみで子どもを育て地域の子どもたちの健全育成を推進し「ここに住んで良かった」と心から言える、誰もが輝いて一人の人間として尊重され協力し合える地域社会のネットワーク形成のため、次代を担う青少年が生き生きと輝き「幸せな町づくり」を実現させるためこれからも活動を続けます。